

欧州プラスチック産業 NEWS

2011 年 4 号 (冬)

- powered by K -

このところのヨーロッパ経済状況についての情報には全く明るいものはありません。ギリシア、スペイン、イタリア、ポルトガルの状況はすでに十分周知されていますが、これから東欧の国々へ影響が現れると予想されます。それだけではありません。ドイツの主要な経済研究所が、来年のドイツの経済成長の予測を下方に修正しています。ただドイツの失業率が今年も随分下がって来て、来年はさらに下がると予測されています。これはクリスマスを前に一つの明るいニュースです。さて、欧州プラスチック産業 NEWS 2011 年冬号をお届けします。今回は

- ◆ 産業・企業 NEWS として、欧州の経済動向、ドイツのプラスチック機械産業の実績と 2012 年の見通し、ドイツの化学産業の実績、
- ◆ 業界トレンドとして、リサイクルの強化、バイオプラの市場とプラスチック製品の無菌化、
- ◆ メッセ情報として、代表的な成長市場のモスクワとニューデリーに開催するメッセを取り上げました。是非ご覧ください。

第 1 部：産業・企業 NEWS

経済危機が東欧に波及

ヨーロッパの経済危機はさまざまな面であらわれています。一つは、失業率です。定義が違っているので、数字をそのまま日本と比較しにくいところがありますが、ユーロ圏の失業率が、ユーロ通貨の導入以来最高レベルに達し、平均 10.3%まで上がってきました。高い失業率が見られるのはスペイン (22.8%)、ギリシア (18.3%)、ラトビア (16.2%)、アイルランド (14.3%) とポルトガル (12.9%) です。それに対して、ドイツの失業率は下がり傾向にあり、3 年前には約 9%でしたが、今月は 5.5%に下がりました。それより失業率の低い国はオーストリア (4.1%)、ルクセンブルグ (4.7%) とオランダ (4.8%) となっています。今後は、欧州経済危機の影響が、中央ヨーロッパに多くを輸出する東欧の国々まで及ぶと予想されています。WIIW 経済研究所の調査によりますと、以前は東ヨーロッパの EU10 か国の来年度の経済成長率が平均 3.7%と予想していましたが、現時点では最高 2.4%までしか伸びないとしています。ライフアイゼン銀行の別の調査では、来年度の東欧 EU 諸国の経済成長率がわずかの 1%になると予想しました。一番問題を抱える国としては、欧州経済危

機の影響と国内の経済対策の弱点を経験するハンガリーが挙げられます。経済協力開発機構 OECD はハンガリーの国内総生産が 0.6%縮小すると予想しています。

ドイツの国民経済も欧州全体の経済危機の影響をまったく受けないとは言えません。来年の経済成長について様々な経済研究所はこの夏までは楽観視していましたが、現時点では 2012 年度の経済成長はわずか 0.4%~0.5%しか見込めないとしています。

出典：2011 年 12 月 1 日付け FAZ 誌、2011 年 11 月 24 日と 30 日、12 月 1 日と 16 日付け Handelsblatt 誌、2011 年 12 月 15 日付け Süddeutsche Zeitung 誌

ドイツのプラスチック機械産業が 2011 年に受注に記録 — 成功例

ドイツ機械工業連盟 (VDMA) はプラスチック・コム機械分野の 2011 年の売上高の伸び率が (2010 年に比較して) 18%ではなく、22%になると独自の予測を上方修正しました。2011 年の売上高は約 60 億ユーロ (約 6084 億円に相当) に達すると同連盟が予想しています。しかし、2012 年度の売上は 7%ぐらい減少するだろうと言うやや悲観的な見通しも出しています。

- 今年会社創立 100 周年を迎える、ドイツの機械メーカーライフエンホイザー社 (<http://www.reifenhauser-group.com>) は、2010 年 7 月 1 日から 2011 年 6 月 30 日までの会計年度に受注も売上高も記録的な好成績を実現することができたと報道しました。売上高の増加率が 12%に達したそうです。特に成長している市場の一つとして、インドを挙げています。同社は来年度の売上と受注を楽観的に見ていると公表しています。
- 2006 年から子会社を設立し日本でも活躍するクラウスマフアイ社 (<http://www.kraussmaffei.de>) は、東欧と東アジアにさらに力を入れ、生産キャパシティーを増加します。昨年できたばかりの、スロバキア共和国のマルティン市にある工場の面積を 13,000 m²までほぼ 2 倍に拡張しました。中国の海盐県の工場面積を 12,000 m²から 22,000 m²に拡大し、押出成形機械の他 EX シリーズの射出成形機とロボットを生産することを報道しました。
- 住友重機械グループに属する住友デマグ社 (<http://www.sumitomo-shi-demag.eu>) は、スロベニア市場の開拓を効果的に行い、マーケットシェアを 25%まで拡大することができました。現地の企業と提携して、これから旧ユーロスラビアの他の市場も順調に開拓できると思われます。

出典：2011 年 12 月 2 日・5 日・8 日付け Plasticker News

ヨーロッパのプラスチック産業と化学産業は楽観的

欧州プラスチック産業の総括組織 Plastics Europe が公表したレポート「Plastics – the Facts 2011」によりますと、欧州のプラスチック生産が、リーマンショック後の危機を乗り越えて、2010 年に前年比 17%の売上増加を見せたとしています。同調査によりますと、プラスチック加工産業の増加率は 9.5%に達したそうです。調査のダウンロードは⇒[こちら](#)

ドイツの化学メーカーは、2011年12月7日の開催された工業会の記者会見で、今年は約4%の成長をみせ、来年は少なくとも1~2%程度の成長を予想していることを発表しました。この成長率は、ドイツ国民経済の成長率をはるかに上回ります。

- 大手のBASF社は売上高を2020年までに640億ユーロから1150億ユーロ（現時点11兆6622億円に相当）まで伸ばすと公表しています。金利・税金・償却差引前（Ebitda）の利益を2倍にし、230億ユーロ（2兆3324億円）まで伸ばそうとする計画を報道しました。
- ランクセス社は、2011年の第3四半期の業績が非常に良好で、2011年の1月~9月までの期間の業績は2010年全年の業績とほぼ同等になるため、今年度は記録的な成果になるのではと思われます。同社は2015年の金利・税金・償却差引前(Ebitda)の利益として14億ユーロ（1419億円に相当）を目指しているそうです。
- エボニック社も2011年の1月~9月の期間にもっともよい業績をみせて、2011年全体をかなり楽観的にみえています。去年の同期間に比べますと、売上高が19%増加し、金利・税金・償却差引前(Ebitda)の利益が19%増加しました。

出典：2011年11月11日付けFAZ誌、2011年12月8日・11月30日付けHandelsblatt誌、
2011年12月16日付けVDI Nachrichten誌

第2部：業界トレンド

環境保護を目指さず、さらに厳しくなったごみ分別法律



ドイツ連邦議会は、欧州共同体の指令に従って政府から提出されていたごみ分別についての既存の法律をさらに厳しくする採決を行いました。2015年から紙、金属、プラスチック、ガラスと有機系廃棄物をさらに分別することが義務付けられます。目的はそれによって2020年までに普通のごみのリサイクル率を65%まであげることだとしています。

出典：2011年10月31日付けのVerpackungsrundschau誌

写真の出典：<http://bilder.bild.de/fotos-skaliert/muell-tonnen-9151184-mfbq-13588212/2,w=457.bild.jpg>

バイオプラ利用が年間平均17.8%増加

独立した研究機関セレスナ社が2011年12月に紹介した調査によりますと、世界中のバイオプラ利用が年間平均17.8%増加し、2018年までに28億米ドル（約2181億円に相当）の規模に達成すると予想されています。去年ヨーロッパ諸国がバイオプラ市場の48%のシェアを占めましたが、2018年までにアジア・太平洋地域がヨーロッパと北アメリカに追いつきます。バイオプラの種類で分けると、トウモロコシなどの植物によって作られるスタ

一チ使用のバイオプラが一位、第 2 位はポリ乳酸から作られるバイオプラだそうです。同社の報告書によりますと、生物分解性のない、更新資源ベースのバイオプラのシェアはそれ自体を含めたバイオプラスチック全体における現在のシェア率である 8%から 47%まで上昇すると予想しています。調査書（英語版）の購入は、研究所のウェブサイトから可能ですが、価格は 1895 ユーロからです。

出典：2011 年 12 月 8 日付け *Plasticker-News* 誌、<http://www.ceresana.com>

プラスチックを無菌化

冬になって、感染予防はヨーロッパ諸国においては重要なテーマとなります。多数の人が集まる場所には、必ず感染予防が必要になります。感染予防は言うまでもなく病院と介護施設にとってさらに重要なポイントです。殺菌消毒方法は材料によって処理工程が違ってきます。金属は加熱または消毒剤の使用が普通ですが、プラスチックの場合には、ほかの方法を編み出すことが必要です。ドイツ・ザクセン州のライプチヒ大学衛生学研究所はプラスチックの無菌化に関する研究の結果を発表しました。

一つの方法は、プラスチックを金属素材でコーティングすることです。例えば、ニッケルクロムのコーティングによって、いくつかの菌類の寿命が純粋なプラスチックに比べて半分まで縮めることができるそうです。ステンレス以外に、銅のコーティングも効果的だとしています。

もう一つの方法は、「Compounding」（配合、複合）です。この方法は、プラスチックの製造工程でプラスチックの素材に抗菌性物質を追加することを指します。よく使われるプラスチック類は、PET、ポリプロピレンとポリアミドで、抗菌性物質として酸化亜鉛と白銀が使われるそうです。

出典：2011 年 9 月 15 日付けの記事「Clean Touch」、www.k-online.de

第 3 部：メッセ情報

メッセ・デュッセルドルフが世界中で 2012 年の第 1 四半期に開催・共催するプラスチック・ゴム産業展には Interplastica と Plastindia があります。

Interplastica International Trade Fair Plastics and Rubber

2012 年 1 月 24 日～27 日、モスクワ



ロシアは昨年 4 億ユーロに近い規模でプラスチック・ゴム機械を輸入して、輸入の増加率が 22.9%を示しています。INTERPLASTICA はこのロシアの市場におけるビジネスのベースとしてその地位を確立しています。29 カ国から約 500 の企業が最新のアイデアや製品を 20,000 人の来場者に向け展示発表します。建設用の絶縁材あっても、食品産

業向けの包装資材であってもロシア市場におけるプラスチックとゴムの需要は膨大です。ロシア経済の発展とあいまって将来のビジネスの可能性は拡大し続けています。新しいプラントや機械、生産工程はロシア市場にとって不可欠です。

出典：2011年11月30日付け *Plasticker - News*、<http://www.interplastica.de>

PLASTINDIA International Plastics Exhibition and Conference

2012年2月1日～6日、ニューデリー



インドの経済成長によって、中産階級が伸びています。食品などの需要が増えその製品の包装がますます重要なファクターとなります。それに従ってプラスチック・ゴム（加工）機械のニーズも増えています。インドは2010年に5億6500万ユーロ規模のプラスチック・ゴム機械を輸入し、16.6%の輸入増加率を示しています。インドが世界で第3番目のプラスチック消費国となるのもそんなに遠い将来ではありません。インフラの面でも、建設分野でも、またメカニカルエンジニアリングやエネルギーの供給分野においてもインドでは経済発展に追いつくために行うべきことが山積されています。PLASTINDIAは、ここで重要なインフォメーションと受・発注のプラットフォームの役割を果たします。1,500を超す出展者が高機能のプラントや機械、モールドの最先端技術や工具、それに工程最適化システム、品質コントロール機器などを展示発表します。30を超す国々から約13万人の来場者が、経営計画の立案や投資の決断にPLASTINDIAを利用します。

出典：2011年12月2日付け *Plasticker-News*、<http://k.messe-dus.co.jp>

欧州プラスチック産業 NEWS2011年冬号、お楽しみいただけましたでしょうか？ご意見やご希望をお聞かせいただけましたら幸いです。

【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

【編集 担当】メルケ 【メッセ担当】山本

info@messe-dus.co.jp

<http://www.messe-dus.co.jp>

<http://k.messe-dus.co.jp>

当ニュースレターご不要の方は恐れ入りますが、上記アドレスへ「欧州プラスチック産業 NEWS 送信不要」とご連絡お願い致します。本メールの掲載情報はメール発行日現在のものであり、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。